



12月も2週目に入り、今年も残すところ20日余りとなりました。先週は沖縄にも寒波が到来し、正門をくぐる子どもたちの衣替えが一段と進んだように感じます。沖縄では寒さを表現するいくつかの言葉があり、「フーチェビーサ(旧暦11月上旬)」、「トゥンジービーサ(冬至)」、「ムーチービーサ(旧暦12月8日)」を迎えながら徐々に冬の深まりが感じられるようになります。学校では二学期まとめの時期を迎え、児童、職員共に普段よりもせわしい時期を過ごしています。子どもたちの会話からは「クリスマス」や「お正月」などの話題も聞こえ、やや気分が浮き立つ様子も見られますが、今学期の学校生活の振り返りや学習のまとめを行いながら、ていねいに今年一年のしめくくりを行っていきます。

各ご家庭におかれましては、冬場の体調管理や冬休みの過ごし方等、学校からの資料も活用していただきながら、健康で安全・安心な年末年始が迎えられるよう、お子様へのお声かけ、見守りをお願いいたします。

赤い羽根共同募金 ご協力に感謝！

11月4日～27日にかけて「赤い羽根共同募金」の取り組みを行いました。この活動は地域における福祉課題や助けを必要とする人たちへの支援等に関心を高め、互いに助け合おうとする態度を育てることを目的としています。今年度はポスターによる周知を掲示委員会、校内放送での呼びかけを放送委員会、募金の集計を企画委員会、貯金箱タワー作りを生活委員会が行うなど、児童会全体で協力しながら活動を進めてきました。集まった募金額は28,700円。大北っ子一人一人の真心と思いやり、そして、各ご家庭のご理解、ご協力ありがとうございました。昨日、南城市社会福祉協議会会長の城間寿史様をお招きして贈呈式を行っています。



島尻地区小学校音楽発表会

去った11月21日(金)には、「島尻地区小学校音楽発表会」が行われ、本校からは合唱の部で6年生(伴奏:久高愛衣海さん)が出演しました。当日の朝には児童朝会でさわやかな歌声を披露、後輩たちから「学校代表としてがんばって!」と大きな声援を受け、シュガーホールでの本番に臨みました。本格的な練習は運動会を終えてからのスタートだったため、十分な準備期間はありませんでしたが、一人一人真剣に練習に取り組み、本番では学校代表としてすてきな歌声を響かせてくれました。



運動場に雲梯・上り棒など設置

運動場への雲梯・上り棒の設置、鉄棒の増設が行われました。今日から使用開始となり、子どもたちは我先にと遊具に集まり、嬉しそうに遊んでいます。休み時間だけでなく低学年の運動遊びなど、体育の授業等でも広く活用していきます。



「世界エイズデー」の取り組み

12月1日の「世界エイズデー」に合わせ、エイズに関する学習や啓発活動を行いました。保健室前には掲示物を設置し、HIV・エイズの正しい知識や、病気のことで人を差別しないことの大切さを分かりやすく紹介しました。登校した子どもたちは足を止め、クイズを見たり、友達と話したりしながら興味深く目を通していました。また、保健委員会による朝の放送や、児童がレッドリボンを貼って仕上げる「レッドリボンツリー」作りにも取り組みました。今回の活動を通して、他者の人権を尊重するなど、思いやりの心がさらに育ってほしいと願います。



安全・安心な年末年始に向けて

冬季休業を含む年末年始は子どもたちの行動も活性化することが考えられ、様々な問題行動、事件・事故に巻き込まれる可能性が高まります。特に、若年層の薬物乱用の広がりについては保護者の皆様もご承知のことだと思います。薬物乱用の危険は、非行傾向のある子に限らず、全ての子どもたちに迫っており、小学生も同様な環境に置かれていると考え、危機意識を高く持つ必要があります。各ご家庭においてもお子様の変化を見逃さないよう日々注意深く見守り、自分自身を大切に、悪い誘いを寄せ付けない、誘われても断ることができる自信を育みましょう。

【薬物乱用から子供を守るチェックポイント(厚生労働省)】

- ☐ 帰宅が遅くなることが多くなった。
- ☐ 理由の分からないお金を欲しがらなくなった。
- ☐ 食事を家族と一緒に食べなくなった。
- ☐ 目を合わせて会話をしなくなった。